



大樹

令和6年1月9日
流山市立八木南小学校



新しい年



あけましておめでとうございます。

新しい年がスタートしました。流山市とは姉妹都市でもある能登地方でおきた大地震では、被災された方々や寒さの中で過ごしている方々に心よりお見舞い申し上げます。一人でも多くの方が救出されることを願い、子供たちとともに今を丁寧に過ごしていきたいと思えます。

振り返ってみると、先月だけでも色々なことがありました。走ることが苦手な人は結構いるものだと思います、と先月号でも触れましたが、持久走記録会では、自己ベストに向けて一生懸命走る姿と共に、仲間を精一杯応援する勢いのある声、あたたかい思いを感じる姿がたくさんありました。八木っ子たちのいいところです。



1年生の秋まつりには、他学年の児童たちがたくさん訪れて、1年生は嬉しく大張り切りでした。自分たちの準備したことを一生懸命説明し、上級生も懐かしくそれに応じ、本校のつながりを感じる素敵なひと時でした。「来てくれてありがとうございます！」と笑顔で伝える1年生の成長が印象的でした。書き初めの練習も行いました。自分の文字とお手本の文字を見比べたり、時に仲間の文字のいいところを見つけたりしながら、落ち着いた中で集中して行いました。

地域の他の学校とも一緒に学ぶ機会がありました。長崎小、東小、向小金小と本校との特別支援学級合同交流会が実施されました。司会進行をする子、感想発表をする子、そしてゲームを考えたり飾りを作ったり等、しっかりと役割を果たし、交流を深めました。楽しかっただけでなく、充実感も味わった1日となりました。



エンジェルスからドジャースへ移籍した大谷翔平選手の年末の会見はまだ記憶に新しいですが、新しいチームにも、古巣のチームにも、それぞれに感謝の気持ちを伝えていた清々しい会見でした。子供たちも、保護者の皆様、見守りや交通安全推進隊の方々、社会福祉協議会の皆様等、その他にも様々な人たちに支えていただきながら成長してきています。改めて、深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

新しい年を迎えた1月、子供たちはどのような抱負を考えたでしょうか。3学期はまとめの学期、そして次へ向かう心構えを築いていく学期です。「えがおとつながり」を大切にしながら、今年度をしっかりとまとめ、次への一步を共に考え踏み出していきたいと思えます。今年も、変わらぬご支援ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



流山市立八木南小学校 校長 山本 亜由美